

やまびこ

372

2月といえば！

新しい年が始まり、早いことでもう1ヶ月が過ぎました。毎年のことながら、イベントが一つ終わると次の広告や売り場へ一気に変わっていき、生活の中でイベントの存在を何となく意識させられていると感じます。図書館では、学校や保育園へ少し先の季節・イベントに合わせた内容の絵本や紙芝居をお貸しすることも多く、そんなところからも季節を感じています。

2月といえば…何をイメージしますか？まずは、節分でしょうか。今年の恵方は〈南南東〉だそうです。恵方巻の起源には諸説ありますが、江戸時代末期の関西地方が発祥と言われていています。今では全国で親しまれており、具材のバリエーションも幅広くなりました。七福神に因んだ定番の7種の具材（高野豆腐・かんぴょう・きゅうり・玉子・うなぎ・でんぶ・煮椎茸）のもの他に、海鮮巻きや恵方ロールケーキまで販売されており、好みに合わせて楽しめるのではないのでしょうか。

節分が終わるとバレンタインデーがやってきます。現在、チョコレートの主原料であるカカオに、原産地での異常気象・カカオの木へのウイルス病害による減収や、それを要因に価格が国際的に高騰するカカオショックが起きています。そこで今増えてきているのが、カカオの含有量が少ない「準チョコレート」という種類のチョコレートです。カカオの含有量が多い純チョコレートとは多少味の差があるものの、低価格で味わえると注目されています。

値段が上がったとはいえ、チョコレートの風味はなかなか他に代えがたいもの…図書館のレシピ本を使って手づくり挑戦したり、この機会に自分へのご褒美で味やデザインにこだわったチョコレートを買って楽しむのもいいかもしれません。

まだまだ寒い時期が続きますが、食で胃袋と心を満たして冬を乗り越えましょう！



図書館にある「節分・チョコレートの本」

- 『えほうまきもぐもぐ』
土田 義晴／脚本・絵(2017)
- 『おばあちゃんのえほうまき』
野村 たかあき／作・絵(2010)
- 『すしレシピ』 重信 初江／監修
朝日新聞出版／編著(2016)
- 『作って楽しい！食べておいしい！！』
巻きずし 飾卷子／著(2013)
- 『あおくんぷくちゃん』
みやもと かずあき／作(2024)
- 『ようかいむらのにこにこまめまき』
たかい よしかず／作・絵(2021)

- 『鬼と日本人』 小松 和彦／著(2018)
- 『和ごよみで楽しむ四季暮らし』
岩崎 眞美子／著 茶葉／著(2009)
- 『食で知ろう季節の行事』
高橋 司／著(2008)
- 『10歳からのお料理教室 季節のイベントレシピ』 大瀬 由生子／著(2016)
- 『1年生からのらくらくレシピ』
チョコレートスイーツ』
若宮寿子／監修(2022)
- 『チーズケーキとチョコレートケーキ』
(2016)

- 『チョコレート語辞典』
Dolcerica 香川理馨子／著
千住 麻里子／監修(2016)
- 『わかったさんのチョコレート』
永井 郁子／作絵
寺村 輝夫／原案(2025)〃
- 『チョコレートの歴史物語』
サラ・モス／著
アレクサンダー・バデノック／著
堤 理華／訳(2013)
- 『チョコレートの世界』
ちょこれいじ／著(2025)

令和8年2月1日
鶴岡市立図書館
鶴岡市郷土資料館
〒997-0036
鶴岡市家中新町 14-7
TEL (図)25-2525
(郷)25-5014
FAX 25-2526





2月の新着案内



リクエスト・予約開始は 2月20日(金) です

やまびこ号の次回巡回日は

月 日です

◎小説・エッセイ

- 八州の風手控え帳 (あさの あつこ)
- 風を織る (あさの あつこ)
- 夜が明けたら (青波 杏)
- あしたの肖像 (岩井 圭也)
- コンフィデンシャル・ゲーム (石井 仁蔵)
- 私的応答 (井戸川 射子)
- 2222 (大山 淳子)
- やっぱり犬は知っている (大倉 崇裕)
- 冷蔵庫婆の怪談 (大島 清昭)
- ウチの共有不動産揉めてます！(桂 望実)
- 絢爛の法 (川越 宗一)
- 灰は灰 (香納 諒一)
- 新宿花園裏交番街の灯り (香納 諒一)
- フェイスウォッシュ・ネクロマンシー (栗原 知子)
- 分水 (今野 敏)
- 見参！寒月霞斬り (佐伯 泰英)
- 最後の一行white (金子 玲介)
- 桜葬 (斎堂 琴湖)
- 春かずら (澤田 瞳子)
- 愛しいチグサ (島田 荘司)
- セツ下がりの女たち (志川 節子)
- 幽民奇聞 (恒川 光太郎)
- はくしむるち (豊永 浩平)
- 被告人、AI (中山 七里)
- 叫び (島山 丑雄)
- 医療Gメン氷見亜佐子 [1][2](本城雅人)
- あいつらの末路 (真梨 幸子)
- 生きとるわ (又吉 直樹)
- 朝鮮漂流 (町田 康)
- 謎屋珈琲店 (峰月 響介)

◎実用書

- ジャック・ラカン (松本 卓也)
- 中右記 (戸田 芳実)
- 宮本常一 (木村 哲也)
- 社会の価値の測り方 (枝廣 淳子)
- 事業承継の進め方と要点がこれ1冊で
しっかりわかる本(伊藤 良太)
- 相続した空き家の整理整頓術 (阿部 洋行)
- お金の不安が消える住まいのコスト大全 (平松 明展)
- 不安の世代 (ジョナサン・ハイト)
- ひのえうまに生まれて (酒井 順子)
- 読むだけでわかる「微分」 (永野 裕之)
- 「がん活」のすすめ (川口 知哉)
- 記憶と脳の探究 (櫻井 芳雄)
- 精神病に関する医学＝哲学論 (フィリップ・ピネル)
- 闘病記の社会史 (門林 道子)
- 北国の暮らし (Kuro)
- かぎ針で編む毎日使いの子供の帽子
- も〜とかぎ針編みの編み図が
読めるようになる本(kiho.)
- ぱぱっととのえごはん (榎本 美沙)
- 食べきり煮もの (重信 初江)
- 長谷川あかりの「あたらしい」
きほんの料理(長谷川 あかり)
- いま知りたいお米と農家の話 (農山漁村文化協会)
- サカナ戦争 (濱田 武士)
- 仏像の誕生 (高田 修)
- 死ぬまでに観に行きたい世界の
超絶美術を1冊でめぐる旅(山上 やすお)

◎児童書

- 神の蝶、舞う果て (上橋 菜穂子)
- 銀のゾウと不思議な友だち (藤重 ヒカル)
- ユリの便箋 (森川 成美)
- テムズ川宝さがしクラブ1 (カチャ・ベーレン)
- ◎絵本
- にげろにげろ (新井 洋行)
- ゆらゆらなじかん(クレア・ヘレン・ウェルシュ)
- ミラーさんちのころころころがるおひっこし (デイヴ・エガーズ)
- ともだちはどこ？(マーガレット・G. オットー)
- ブロンテきょうだいのちいさな手づくり絵本 (サラ・オレアリー)
- いぬはりこくんのたからさがし (かのう かりん)
- きょうおかいものにいったらね (マイケル・ローゼン)

=先月結果発表された賞=

第174回芥川賞・直木賞

芥川賞

- 『時の家』 鳥山まこと
- 『叫び』 島山丑雄

直木賞

- 『カフェーの帰り道』 嶋津輝

芥川賞受賞作は、文芸春秋3月号に全文と選評が掲載されます。直木賞の選評はオール読物の3月号に掲載予定です。

新着図書は右記以外にもありますので、お気軽にお声がけください。新刊は、ホームページでもご覧いただけます。

